

みんなで「流域治水」を進めます（流域治水プロジェクト始動）

～九頭竜川流域治水協議会を設立～



○今年も令和2年7月豪雨など大規模水害が全国各地で相次いで発生しており、今後の気候変動を踏まえ更に水害の頻発化・激甚化が懸念されます。

○このような水害リスクの増大に備えるため、これまでの治水に加え「流域全体で水害を軽減させる『流域治水』への転換」を進める必要があります。

○流域内のあらゆる関係者の協働により「ハード対策」と「ソフト対策」を一層推進し、新たに「流域対策」も含め拡充することで、事前防災を加速させます。



福井河川国道事務所におけるWEB会議の様子

- ①国・県管理河川における「治水対策」の確認
 - ・河川整備計画に位置付けた河川改修等を位置付け
 - ⇒九頭竜川水系で計画されている「河川対策」の全体像を見る化
 - ②国・県・市町における「減災対策」の確認
 - ・大規模氾濫減災協議会の取組方針に位置付けた減災対策等を位置付け
 - ⇒九頭竜川水系で計画されている「河川対策」と「減災対策」の全体像を見る化
 - ③国・県・市町における「流域対策」の確認
 - ・各機関が実施している流域対策を踏まえ拡充を検討のうえ位置付け
 - ⇒九頭竜川水系で計画されている「河川対策」と「ソフト対策」と「流域対策」の全体像を見る化
- 九頭竜川水系で計画されている「河川対策」と「ソフト対策」と「流域対策」の全体像として【九頭竜川流域プロジェクト】が完成し、これを基に【防災・減災対策の取組方針】を策定

協議会における当面の実施フロー

プロジェクト始動にあたり首長からご意見を頂きました

- ・国交省の水害サミットに参加し本市では見附市等の例を踏まえ「**田んぼダム**」を整備している。上流の自治体でも整備が進み効果は大きい。今後は整備率100%を目指したい。
- ・本市では福井豪雨以降に12箇所約25千 m^3 の雨水貯留施設を整備した。市民が雨水タンク等を設置する場合には補助制度を創設した。今後は民間活力も検討したい。
- ・令和2年7月豪雨の水害で痛ましい犠牲はとても他人事でない。本町では要配慮者利用施設における避難確保計画の作成率は100%だが訓練についても100%を目指す。
- ・河川に堆積した土砂は、速やかに掘削して川の流れをよくしてほしい。
- ・広い流域内の多くの市町が集まる場なので、有益な情報提供を頂けると期待している。

【実施概要】

開催日時：令和2年8月25日(火)午前9時～10時
 開催場所：WEB会議による開催
 参加機関：16機関(2県7市4町と国交省の3事務所)
 取材社数：新聞社3社

【問い合わせ先】

福井河川国道事務所
 河川管理第一課
 〒918-8015福井市花堂南2-14-7
 TEL 0776-35-2661

